射水市立東明小学校 学校だより 第6号

東明っ子

10月

令和8年10月19日



学習の成果発表会



10月10日（土）に行いました「学習の成果発表会」では、ご家族や来賓の皆様方にご来校いただき、ステージ発表をご覧いただきました。子供たちは、**「仲間と協力し、笑顔あふれる学習の成果発表会にしよう」**のスローガンのもと、当日まで、練習を重ねました。初めのころは、うまくいかないと悩んだことが多かったでしょう。しかし、一生懸命に練習をし、できることを少しずつ増やし、本番に臨みました。また、工夫を凝らして、よりよい表現を目指しました。そのかいあって本番のステージでは、練習の成果を十分に発揮し、スローガンどおりの笑顔いっぱいの発表にすることができました。子供たちは、一人一人が目当てをもって取り組むことの大切さ、仲間と力を合わせて一つのものをつくり上げることのすばらしさを体感することができました。その過程で味わった達成感や充実感は今後の学校生活に生きることと思います。

来校くださった皆様には、参観の際の制約にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。保護者の皆様には、発表に向けての準備等にご協力をいただき、ＰＴＡ役員の皆様には、入場や受付等、運営へのご協力をいただきました。ありがとうございました。

5年生　虹　～心をひとつに～



合奏「フレンド・ライク・ミー」、ダンス、合唱「いのちの歌」の３つの内容に挑戦しました。合奏では、それぞれの楽器の音量やテンポ、バランスを調整し、互いの演奏を聴きながらハーモニーを奏でました。ダンスでは、



グループごとに一つ一つの動きやフォーメーションを考え、アイディアを生かしました。合唱では、パートごとの歌声の響きを意識して、歌詞に込められた思いを聴く人に伝えました。高学年としてのまとまりや高まりが表れ、みんなの心が一つになった素晴らしい表現でした。

2年生　トライ・エヴリシング！チャレンジ　フェスティバル



題名にも示された学年目標を目指して、マット、ボール、なわとび、フラフープ等の運動に挑戦しました。ステージで見せる笑顔いっぱいの堂々とした態度からは、グループごとに、一つ一つの技の練習を積み重ねてきたことが伝わりました。



ステージ下で出番を待っている間も、発表をしている仲間を応援する姿がすてきでした。リズムに乗って、はつらつと踊るダンスが、明るく元気いっぱいの２年生そのものを表していました。

1年生　みんなではじめのいっぽ　～えがお　なかよし　チャレンジ～

入学してから、毎日の生活の中にたくさんの大発見がありました。算数や音楽、体育のの時間で学習したことを、それぞれの得意なことを取り入れながら発表しました。一人一人が自分のせりふを堂々と大きな声で発表している姿には、小学校生活で身に付けてきた力が表れていました。最後は、「ぼよよん行進曲」の歌をリズムに合わせて元気いっぱいに歌いました。




3年生　ぼくたち・わたしたち東明っ子　～つながる東明と世界～

中学年になり、さらにパワーアップした元気いっぱいの発表を見せてくれました。総合的な学習の時間に各自が調べた世界の国々のことや外国語活動で学んだことをもとにして、国の地形や広さ、気候、音楽、食べ物等、その国の特徴を分かりやすくまとめて発表しました。息を合わせた歌「世界中のこどもたちが」、タンギングに気を付けたリコーダー演奏「にじ色の風船」等、心地よいメロディーを聴かせてくれました。




4年生　地球のために、私たちができること



「今、地球で起きていることは何か」、「私たちにできることは何か」をテーマとしました。地球上に起きている様々な現象や問題について、身振り手振り交えながらゆっくり、はっきりと話しました。最後には、夏季休業中に各家庭で取り組んだ環境を守っていくための取組から学んだことをもとに「身近なところから始めよう」と観る人に提言しました。加えて、ダンスや合唱「いつだって！」を披露するなど盛りだくさんの発表でした。



6年生　まぬけ村の物語




ある日、平和な村に知らせが届きました。村人たちは次々と起こる出来事に知恵をしぼり、力を合わせて立ち向かいます。笑いのある場面、仲間のことを想い決断をする場面等、観る人に伝えたい大切な思いや願いを演技で表現しました。大道具や小道具の製作、照明も全て自分たちで工夫を凝らしました。ステージやアリーナを使った、広がりのある発表でした。最後に披露した「ぼくらの日々」の合唱では、歌の中に何度も出てくる「僕らの心をつないでいる」という歌詞に思いを込め、6年生が大切にしている仲間と共に過ごすの日常の大切さを伝えました。最高学年らしい、観る人の心に響く発表でした。

